

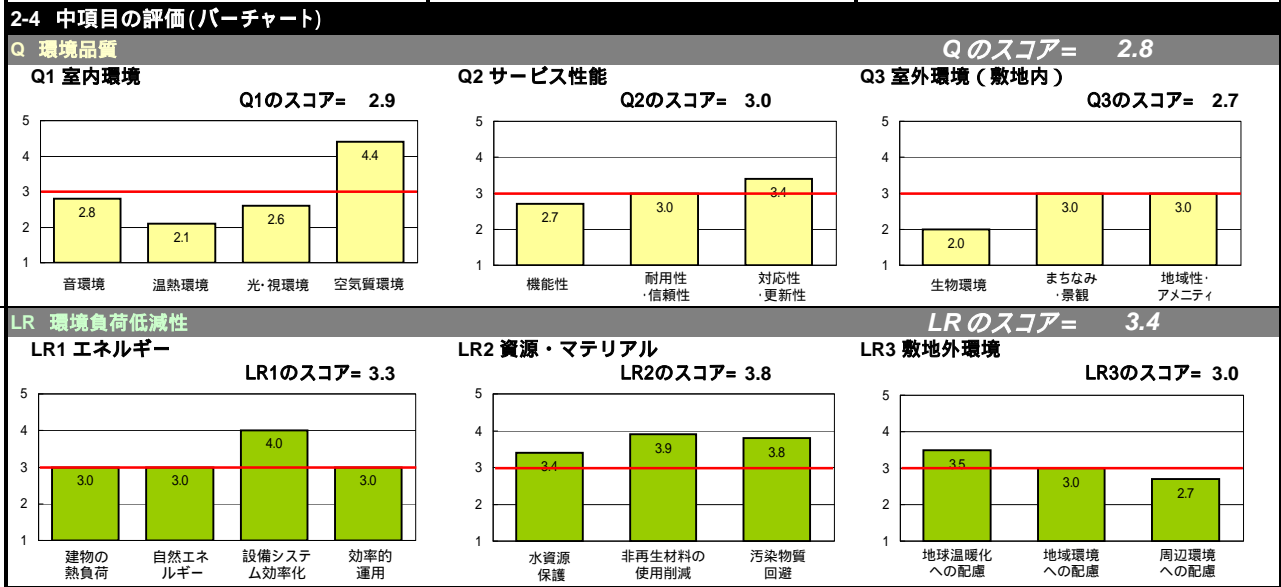
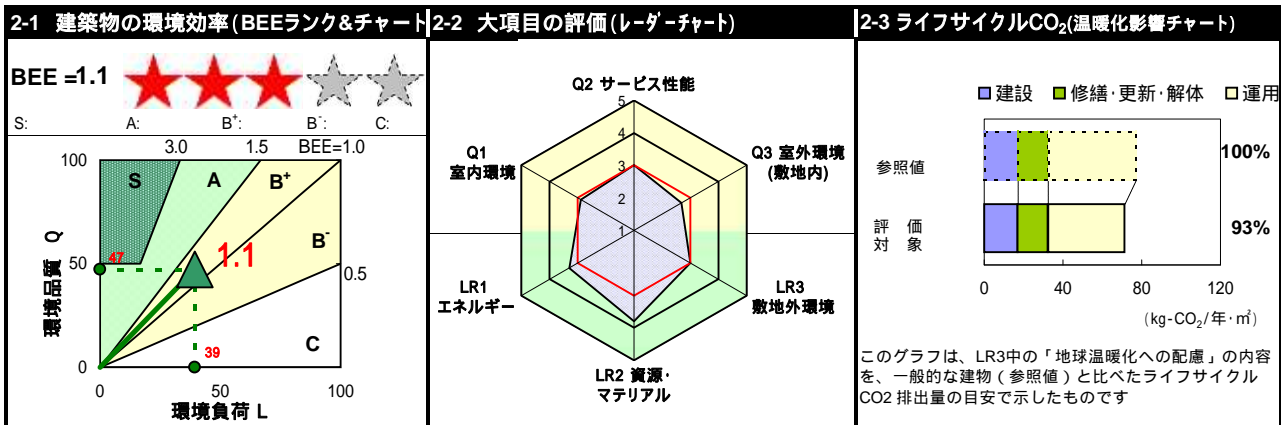
# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢市地方卸売市場民営化整備事	階数	地上2F
建設地	神奈川県藤沢市稲荷520番他	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定無し	平均居住人員	153人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2011年1月27日
敷地面積	123,235 m <sup>2</sup>	作成者	JFEエンジニアリング(株)
建築面積	4,232 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,228 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> ・既存施設の建替えなので、景観に配慮しながらコンパクトな建築計画を行った。 ・既設で継続利用する建屋と新設との関係に配慮し、効率的な市場運営を行える施設を計画した。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・広い執務室はゾーン毎に、その他の執務室は各部屋毎に、空調のゾーニングを行い、冷房・暖房の選択が可能な空調システムを計画した。 ・外気負荷を抑えるため、換気に全熱交換機を採用し	<b>Q2 サービス性能</b> ・設備関係について、日常の保守点検作業やメーター類の検針を効率的に行えるように、建屋内に設備配管スペース(1階)、盤室(2階)を計画した。 ・空調配管用の天井スペースを確保することで、構造部
<b>LR1 エネルギー</b> ・照明設備について細かいゾーン毎に点滅を行い、トイレ等は人感センサーにて使用時のみ点灯するように計画した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・既存の分荷棟や関連棟についてはリフォームを行い、既存建屋を解体せずに継続して利用できる計画とした。 ・特定化学物質を含まない建築材料を採用した。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・既存植栽の保全・再生に努める計画とした。 ・空調室外機を1階屋根上に設置し、換気の排気口を高い位置に設置するなど、人の通る場所や吸気口等に排気や排熱が及ばないように計画した。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・敷地中央に低層の建屋を計画し、既存の緑地の保全・再生を行うことで敷地外への熱的な影響を低減する計画とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい